

平成28年度 第1回 下松市地域公共交通活性化協議会

会議録

○日時：平成28年8月3日（水）14:00～15:15

○場所：下松市役所 5階 503会議室

○出席者

國井益雄市長（副会長選出後退席）

委員：19名（欠席2名）

棟近委員、寶迫委員、河内委員、弘委員、清水委員、田中委員、熊谷委員、
網本委員、池田委員、古田(尊)委員、宗像委員、丹後委員、西村委員、
古本委員、永田委員、古田(健)委員、浜口委員、安野委員、金織委員

事務局：企画財政課、株式会社バイタルリード

○次第：1 開会

2 委嘱状の交付

3 市長あいさつ

4 委員紹介

5 会長あいさつ

6 議事

(1) 副会長選出

(2) 下松市地域公共交通網形成計画策定概要について

(3) 下松市地域公共交通網形成計画策定スケジュール（案）について

7 その他

1 開会

2 委嘱状の交付

市長より委員を代表して寶迫委員に委嘱状を交付
その他の委員には委嘱状を机上配布

3 市長あいさつ

4 委員紹介

出席者が1人ずつ自己紹介
保見委員、積委員は欠席

5 会長あいさつ

市長が棟近委員を会長に指名
棟近会長あいさつ

6 議事

発言者	発言要旨
事務局	委員名簿と議事概要はホームページで公開したいと考えている。
各委員	(異議なし)

(1) 副会長選出

発言者	発言要旨
会長	副会長は会長が指名することになっている。副会長は徳山高等専門学校教授の古田委員にお願いしたい。
副会長	徳山高専では建築を教えているが、都市計画、都市交通も関係があり、広く公共交通に関する研究もしている。微力ながら協力させていただきたい。

(2) 下松市地域公共交通網形成計画策定概要について

(3) 下松市地域公共交通網形成計画策定スケジュール(案)について

発言者	発言要旨
	(事務局より事業者選定の経緯について説明) (事務局より下松市地域公共交通網形成計画策定概要及びスケジュールについて資料をもとに説明)
会長	ご意見等があればお願いしたい。
委員	学生アンケート調査を実施したということだが、今後また学生向けに実施する計画はあるか。
事務局	学生を対象にしたアンケートは回収して現在集計中である。来週実施する民生委員アンケート、市民アンケート以外に実施予定はない。
委員	アンケートはバスのことを考えてもらう良い機会である。防長交通では学生向けのフリー定期も販売しているので、そのチラシを提供しアンケートと一緒に配布することができる。路線の改善も必要であるが、実際に利用者を増やすための施策も大切なので、今後このような機会があれば声掛けしてほしい。
事務局	今後実施する市民向けのアンケートには公共交通の利用を促進するPR資料を入れる予定なので、相談させていただきたい。
委員	実態調査の対象は路線バスだけか。乗り継ぎやJRなどはどうするか。
事務局	鉄道に関しては、JRが駅別のデータを取っていると思うのでそれを整理する。住民アンケートでは地域別にどこに行っているのかという実態や、どこに行きたいのかというニーズを把握するので、きちんと乗り継ぎ等でサービスが繋がっているか検証することを考えている。
委員	公共交通は広く観光なども関係する。地域の人口が減少する中で利用者を増やす案を考えても難しいので、他に広げて利用者を増やす方向にもっていかないといけないと思う。人口が減少するなか、特に山間部ではそうだろうと思うので、料金も考えれば、増える見込みをそういうところに持って行かない方がいいと思う。

事務局	人口減少の中、観光需要を取り込むことは重要なので観光についても検討したい。ただ、住民が使っていないサービスを来訪者が使うというのは少し難しい。マイカーは便利だが公共交通を残していくためには公共交通を使わないといけないということを、個人としては、まず地域の方に訴えることが大切だと考えている。
会長	他に意見はあるか。 では、スケジュールについてご意見はないか。今年度はあと3回開催する予定なので、皆様にはよろしくお願ひしたい。
委員	実態調査は9月末くらいで終わるのか。これで実態はつかめるのか。
事務局	バスの実態調査は1年のうちの1日である。たまたまこの日だけ乗っていないという人もいるかと思うので、このデータをすべてとして判断するものではない。例えば、路線の効率化を議論する場合には乗務員に日々の状況を聞くなどして補足するつもりである。
委員	実態調査はしっかり行ってほしい。このデータがないと始まらない。
会長	他に意見はないか。無いようであれば、これで審議は終了する。

7 その他

発言者	発言要旨
会長	その他の事項について事務局からあるか。
事務局	今回は概要説明が主であるため本日資料を配布したが、次回より具体的に議論するため資料は事前配布する。 地域との協議は、全地域は難しいため地域を限定する必要がある。公共交通の利用者が少ないところで既存の公共交通サービスについて意見や要望を聞いたり、市としての方針は白紙だが、例えばデマンド交通など新しい公共交通の導入可能性等を議論したりしたいと考えている。市の南北両端に位置する米川地区か笠戸地区ということになるが、笠戸地区は県道沿いに家が張り付く形で集落が分布しており、新しい公共交通の導入可能性が比較的少ないと思われる。また、笠戸島については観光に力を入れているところであり、観光旅行者にとって定刻の公共交通がないのはどうかということもある。そのため、まずは米川地区でと考えているのでご了承いただきたい。
(事務局より報酬の支払いについて事務連絡)	
委員	公共交通の活性化を業務で行っている立場から一言申し上げる。今日この場に来るのに公共交通を使った方はものすごく少ないと思う。自身も山口市から来ようと思うと公共交通では乗り換えもあるし時間もかかる。一方、日本全体で人口は減少し、公共交通機関も衰退してきている。JR三江線は廃止が正式に決まるようだ。JRが廃止を言い出すと、「廃止反対」と言うが、こうなってからではもう遅い。走らせるほど赤字になる経営的に成り立たない路線であり、会社としては廃止せざるを得ない。 山口にも同じような路線がある。国・県・市がそれぞれ補助を出している路線がたくさんある。これを、維持のためには仕方ないとみるか、もったいないとみるか、いろいろな考え方はあると思うが、

	<p>一方で廃止すれば困る人がいるのも事実。廃止になってしまう前に手を打たなければならない。この協議会がそのきっかけになればいいと思う。今車を運転できるからいいと思う方も多いと思うが、いずれ我々も高齢化し運転免許を返納するときのことも考えねばならない。その時に公共交通機関がなくなっているはどうしようもない。そうしたことも考えていただくきっかけになればと思う。</p>
会長	<p>他に意見はないか。 なければ以上をもって第1回協議会を終了する。</p>